

## 第4回 吉野町子ども・子育て会議 会議要旨

■日時： 平成26年7月16日（水）PM7：00～9：00

■場所： 町中央公民館2階 第3・4研修室

■出席者：

	氏名	所属・役職名等
1	池田 宗士郎	吉野町連合 PTA 代表（会長）
2	石田 裕子	奈良佐保短期大学地域こども学科 准教授
3	戌亥 一男	吉野町民生児童委員協議会代表（会長）
4	上田 正行	吉野町区長連合会代表（副会長）
5	大石 さゆり	公募委員
6	大北 司	わかば幼稚園保護者（代表）
7	小泉 梓	吉野町議会議員（文教厚生委員長）
8	下中 一平	吉野幼稚園保護者（代表）
9	中東 郁雄	小中学校校長代表（吉野中学校長）
10	中前 照美	わかば幼稚園長
10	中村 久己子	吉野保育所長・吉野幼稚園長
11	林 豊子	公募委員
13	南 雅樹	吉野保育所保護者（代表）
14	和田 公子	奈良佐保短期大学地域こども学科 客員教授

■配付資料

- ・吉野町子ども・子育て会議 次第
- ・資料1 吉野町子ども・子育て支援事業計画 骨子案
- ・資料2 吉野町子ども・子育て支援事業計画 基本理念検討資料
- ・資料3 保育の必要性の認定について①
- ・資料4 新制度の利用者負担について（案）
- ・資料5 平成27年度吉野町認定こども園保育料一覧表（案）

## 1. 開会

## 2. 出席委員数報告

## 3. 会長挨拶

こんばんは。前は5月で本当に心地よい季節でしたが、今日は本当に暑くて、吉野も暑い一日を過ごされたかと思います。来る途中、これまではどんどん暗くなって真っ暗な中を走ってきたように思いますが、今はまだ明るくてしっかり夏の空で、暑いですがどきどきとした暑さが、かえってあきらめもついで心地いいかなと思いつつ車を走らせていました。間もなく夏休みです。子どもたちにとっては、家庭で過ごす時間です。幼稚園では、あらためて家庭に子どもたちを一旦お返しするという時期になります。吉野は本当に川があり、せせらぎもあり、マイナスイオンもあります。吉野は春がいいと言いますが、夏も本当にすばらしいと思っています。

そんな時に、今日は子ども・子育て会議としては、一つ大きな山場の議題だと思っています。委員の皆さま方の忌憚のないご意見を頂戴し、会議を進めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

## 4. 議事

(会長)

議事に入ります前に、会議の会議録について署名委員を指名させていただきます。順番に回らせていただきますので、よろしくお願いいたします。今回は大石委員と戌亥委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

### 1) 子ども・子育て支援事業計画基本理念について

(事務局説明)

#### 【質疑】

(会長)

今、事務局から報告がありましたように、前回、皆さまから本当にたくさんの意見をいただいて、キーワードを出していただきました。それを4つの案として出していただきましたが、これについて、4つの案以外の言葉を並べていただいてもかまいません。事務局で4つの案を挙げていただきましたが、これについて何かご意見ございませんか。基本理念の趣旨についても、今、読み上げていただきましたが、目で読んで、耳から聞いた趣旨と、それに合った理念として4つ、もしくは4つ以外の何かご意見がございましたら、いただけたらと思います。いかがでしょうか。

(委員)

子どもと一緒に成長していくものであり、という言葉で、いわゆる親育ちという家庭を支援し、という言葉で、僕は最近ちょっと使わせてもらっている言葉があるのですが、共に成長できると。親も子どもと一緒に成長できる、共に成長できるような、そういうニュアンスを入れてもらえたらと思います。

(会長)

共に成長できるという言葉はいかがかというご意見でした。何かありますか。

(委員)

共に成長できるという言葉は、とてもいいキーワードだと思います。前回、支えるというキーワードをおっしゃっていただいた時に、私もとても共感を覚えましたので、この案①の「みんなで支え」という言葉が入っているところを生かせたらいいと思います。

(会長)

実は、このキーワードはもう一度審議をするというのではなく、また、4つのうちからどれかを選ぶということでもなく、この会議で決定したいと思っています。てにをは、ぐらいは変わるかも知れませんが。4つの案のうちのどれかでも構いませんし、今も新しく、共に成長できるという言葉を入れてほしいというご意見をいただきました。例えば、「共に成長できる」という言葉はどのように入れることができるでしょうか。

(委員)

ちょっと分かりません。

(会長)

例えば、共に成長できるということであれば、例えば、案②の「子育て親育て」を「親も子ども共に成長できる」といえるか。もしくは、「豊かな支援に広がる笑顔 子どもも親も共に成長できるまち 吉野」とするとか、キーワードだけではなく、基本理念の言葉になるような考えも併せてご意見いただけたらと思いますが、いかがでしょうか。

(副会長)

吉野らしい言葉を入れたらどうでしょうか。

(会長)

例えば、「豊かな自然」は吉野らしいという範疇に入りますか。あまりにも抽象的ですか。

(委員)

案②がいいと思います。

(会長)

このようにご意見いただけませんか。

(委員)

「共に」という言葉がどこかにあればいいのかなと思います。

(委員)

キーワードの下の他市町村の例を見た時に、いずれのテーマもよく使われているなと思いました。基本的な考え方になると、よく似たかたちが出てくるのかなと思いながら、「よ～、し～、の～」というように最初の文字を縦に並べて「よしの」と読むかたちもあるのかなと。私は今、「よりよく育てよう 親身にかかわろう 伸びやかな吉野へ」と、そのようなことを考えたりしています。ご提案いただいた4つの案は、とてもうまくつくってくださっていますが、市町村の例をぱっと見た時に、吉野らしさを「よしの」と並べることでつukれないかなと思っています。提案です。

(会長)

吉野は吉野らしい言葉を入れていくのもいいかなと思います。いま、委員からは吉野らしいというキーワードで選びとられるのは、「伸びやかな」という言葉でよろしいでしょうか。伸びやかな吉野へ、とおっしゃっていただきましたが。

(委員)

よりよく育てようの「よ」。親身(しんみ)に関わろうの「し」、のびやかな吉野の「の」という、「よしの」というかたちになります。

(会長)

という案をいただきました。ほかにはいかがでしょうか。

(委員)

4つともすべて今あるものをどうするかという文言だと思います。ところが、考えてみたら、今後の吉野をどうしたらいいのかという一番大事なことが書かれていないように思います。今を大事にしようという、これでいいと思います。今後の吉野のことを心配して、どうするかということがいると思います。

(会長)

例えば、今後の吉野にどうなってほしいのかというようなキーワードは、何か思いつかれますか。

(委員)

それとこれを一緒にするというのは大変だと思いますが、将来の吉野を見たら不安でたまらないと思います。

(会長)

不安が払拭できるような、未来に希望が持てるような。同じく趣旨のところにもありましたが、地域を挙げて希望を持って子育てができるようなまちという意味のキーワードのようなものが必要ではないかというご意見ですが、ほかの委員の皆さま、いかがでしょうか。未来へのキーワードということですが、今あるものではありませんが、今あるものを持続、継続させていくということについても大きな意味があるようにも思います。今、例えば、みんなで支え、つながるといったものが吉野のまちに歴然と流れているとしたら、これが将来にわたっても、支え合い、つながり合う吉野でありたいという未来への希望でもあるように私は受けとらせていただき、4つの案を聞かせていただきましたが、そういう受け取り方もできるような気がします。

(委員)

キーワードを出してもらって、それをうまく全体をこういうところに関係付けられればと思います。キーワードとして、環境がいいとか、空気がいいとか、そういうことが出ていたので、やっぱり自然に関係があるのかなと思っていましたら、出てきた案は、やっぱり自然に広がる笑顔とか、吉野で育てようという案があるので、入っているなあと感心していました。豊かな自然に広がる笑顔をキャッチフレーズにするのなら、ちゃんとおさえてあるなと思います。キーワードの中から選んであるというので、なるほどなと思っています。

(委員)

私たちは実際、子どもたちと森に出掛けたり、山のすそ野に出掛けたり、近くの川に出掛けたりすることが本当に多いです。やっぱり自然の中に子どもが入ると、本当に生き生きと自分で考えて、自分の気持ちで動こうと、自然にかかわろうとする姿を目の前で見えていますので、やっぱりこういう豊かな自然の中で子どもが育っていくというのは、素晴らしいことだなと日々感じています。先ほど、委員がおっしゃったように、吉野はどんどん子どもたちが減っていきつつありますし、若い世代もすごく減っていて、高齢の世代がすごく増えていますので、そういう不安もたしかに町としては抱えていますので、その辺りが子どもたちの笑顔で飛んでいくような、そういうキャッチフレーズができたらいいなと

思うのですが。

(委員)

この4つのキーワードを見せていただいた時に、私は素晴らしいなと思っていました。先ほど、委員の方が「よしの」と頭文字を合わせられた案を聞いている時に、「しみりかかわろう」という言葉が思い浮かびました。案②はとても好きだなと思ったのですが、「しみりかかわろう」と、これはやっぱり親支援で大事なのかなと、今、ちょっと感じています。とりあえず、案②には赤丸を付けたのですが、そこに「しみり」という言葉を入れてはどうかと私は感じました。

(委員)

私も案②がいいなと思っています。皆さんの意見を聞いていて、吉野らしいと言われたら、豊かな自然とかしかいえない自分がちょっと情けないような気がしています。言葉として表すなら、「明るいまち 吉野」であるとか、「希望のまち」とか、「夢のまち」といった言葉を入れれば、ちょっとは未来へつながるかなと思うのですが、いかがでしょうか。

(委員)

私も4つの案を最初に読んだ時に、皆さんと同じく案②が目にとまったのですが、それに豊かな自然広がる笑顔というところが、もう少し個人的に、子どもであったり、親であったり、子どもと親の笑顔、というようなものが入っていたら、もっと自然に入ってくるというか、心に響くというか、文字だけではなくて入ってくるものがあるのかなと思いつながら見せてもらいました。

(委員)

私は、実は、親育てという言葉が引っかかっています。上から目線だなと。未熟かもしれませんが、育ててやるよといわれると大人はすごく嫌だと思えます。ですから、もしこれを採用するなら、先生が言われたような、「共に育つ」というような言い方をした方がいいのではないかと思いました。親育てというのは、すごく嫌な言葉だと思いました。

(会長)

一つ一つのご意見をなるほどと思いながら、うんうんとうなずいていたら、決まりませんので、今日中にこの会議で決めなければなりません。次にも大きな議題が待ち構えていますので、どこかで決めてしまいたいのですが。先ほどご提案いただきました、よしの、の頭文字を取った「よりよく育てよう 親身(しみ)に関わろう のびやかな吉野」と、案②が出てきているかと思えます。今、上から目線だという意見もいただきましたので、ちょっと文言をいくらか変えるにしても、案②あたりが集約されたご意見かなとは思って

います。あとは、語呂がいいとか、分かりやすいとか、頭文字で「よしの」となるという  
かたちがいいので、細かい意見はともかく、そのあたりでいかがでしょうか。多数決とい  
うわけにはいかないと思いますが、このままだと、なかなか決まりませんので、少し挙手  
をお願いしてもよろしいでしょうか。案②、言い回しは少し変わるかも知れませんが、お  
おむね案②のようなもの、もしくは、頭文字で「よしの」を表すもの、どちらがよろしい  
でしょうか。では、案②の方でいいと思われる方、挙手願えますか。では、頭文字で「よ  
しの」を表した案がよいと思われる方。皆さん、手を挙げていただきましたか。

(委員)

どちらかに手を挙げたいのですが、僕はまだ把握できていなくて、当てずっぽうで手を  
挙げたら失礼かと思いましたので。

(会長)

分かりました。では、棄権ということで。では、「よしの」を頭文字に表した案の方にし  
たいと思います。言葉について、今、ここで新しいものになりましたので、よりよく育て  
よう 親身にかかわろう 伸びやかな吉野で、という言葉について、再度、ご意見いただ  
いてもよろしいですか。これに付け加える新しい言葉の案はありませんか。ほかの委員の  
方もいかがですか。

(委員)

私は、親身という言葉がいいと思ったのですが、先ほど「しんみり」という案も出まし  
たので、それもいいなと思いました。

(会長)

「しんみり」というと、ちょっとさみしい感じがしますので、もう少し明るいイメージ  
の方がいいような気がします。ちょっと決めかねているのですが、事務局の方、いかがで  
しょうか。

(事務局)

今、新しい意見をいただきましたが、前回、検討しようとしていた中にはない言葉で、  
この4つの案は、事務局が上の文章から導き出した言葉で、新しい言葉となると、それを  
どこかで読み込めるようにしておかなければなりません。だから「親身に」という言葉は、  
6ページの第一番目の文章に言葉が詰まっているので、どこで読み込むかを考えてからキ  
ャッチを付けないと、ちぐはぐになるのかなと私は思います。事務局としては、文章の流  
れからこの4つの案を提案していますので、その辺もお含み置きいただきたいと思います。

(会長)

ということですが、新しいキーワードが出てくると、そのキーワードに基づく趣旨のところがあやふやになって、キーワードだけが一人歩きする、または趣旨と違って来るのかなということです。そうなる、案②の方がいいのかなと思って、困ったなと思いますが、いかがでしょうか。

(委員)

先ほどから聞いていたら、「豊かな自然に広がる笑顔」というところまではいい文章であると。その次の、「子育て親育てのまち」が上から目線だからどうかということになるのだったら、その部分を変えてはどうでしょうか。

(会長)

頭文字で「よしの」の表すという、とてもよい意見を委員からいただきましたが、吉野というのは豊かな自然というところと、広がる笑顔というのは、未来に向けて、それを絶やすことなく、未来永劫継続して、子どもたちの笑顔、親の幸せな顔は、吉野のまちで育まれるものだと思われているのですが、その辺でいかがでしょうか。せっかく挙手までしていただいて、一旦決まったものを覆すようで申しわけありませんが、今、事務局の方から趣旨の方と、という意見をいただき、一から戻らなければならないのであれば、本当に先行していましたので、案②の方で決めてご異議ございませんでしょうか。

(一同)

異議なし。

(会長)

では、うなずいていただいていますので、案②で決定いたします。もう一つは、子育て親育てのまちという文言を入れ替えるなり、変えてはどうかと。

(委員)

上の案①を足して、「豊かな自然広がる笑顔 みんなで支えつながるまち 吉野」ではどうでしょうか。

(会長)

折衷案が出ました。「みんなで支え つながり 笑顔が輝くまち 吉野」。みんなで支え、つながるといふのは、子育てと親育てという意味に取れますよね。強引でしょうか。というところで、意見をいただきました。もう一度読み上げます。「豊かな自然に広がる笑顔 みんなで支え つながるまち 吉野」でいかがでしょうか。



(委員)

みんなで支え、というのは支え合いということですか。みんなで支え合い、つながるといことですね。支え、で止めてしまうよりも、支え合うという言葉にした方がいいのではないかと思います。

(会長)

「みんなで支え合い つながるまち」ですか。

(委員)

ちょっとおかしいですね。

(会長)

最初に案を見た時に、「みんなで支え つながり」というところが、「支え合い」ではないかと思いました。そうすると、言葉としてみんなで支え合い つながり合いという言葉で語呂としてはいいのかなと思って、これを初めて見た時には、案①でいえば、「みんなで支え つながり」というのが、何かちょっと言葉足らずというような気もしました。でも、「支え合い つながり合い」というのは、ちょっとしつこいかなと。

(委員)

ちょっとくどいですね。

(会長)

「みんなで支え合い つながるまち」ではいかがでしょうか。

(委員)

難しいですね。「豊かな自然に広がる笑顔 みんなで育てよう 吉野のまち」ではどうでしょうか。

(会長)

そうすると、育てるのは吉野のまちになりますね。豊かな自然に広がる笑顔が誰を指す笑顔なのか、「みんなで育てよう 吉野のまち」となると、まちのキャッチフレーズになるような気がしますが、いかがですか。

このまま事務局に渡してしまっ、あとはお任せというのではいかがでしょうか。もしくは、お任せしないで委員の皆さん方で話し合うと。8時までには一つの結論を出していただきたいと思います。事務局で決めていただいたことは、もう一度は戻ってきませんの

で、お任せというところで異議はありませんと。ここまで議論しましたので、そこをうまくつないでいただいたものについて、それぞれの委員の方で異議を申し立てていただくわけにはいきませんので、そういうことでよろしいでしょうか。何かよい案はございませんか。今、ご提案いただいたものを、あらためて代案のようなものを出していただいて。

(事務局)

皆さま、知恵を絞って色々な案を出していただき、協力していただいております。今、委員の皆さまが出してくださっていた、「豊かな自然に広がる笑顔 みんなで支え合い つながるまち 吉野」という理念はいかがでしょうか。この言葉であれば指針の内容が入っていますので、事務局としてもいいかなと思っています。ご検討ください。

(委員)

ということで、案①と案②を折中した言葉。色々な思いはおありかと思いますが、大きな違和感を覚えていないのであれば、このあたりで決めさせていただいてよろしいでしょうか。ご意見ございませんか。何かこれについて意見等ございませんか。強引ですみませんでした。

(委員)

「子育て」という言葉が入ってなくてもいいですか。

(委員)

私も思ったのですが、まちのキャッチフレーズになってしまいます。

(会長)

先ほどと同じことになりますね。

(委員)

子どもの笑顔にするとか。

(委員)

子ども限定のキャッチフレーズなので。他の市町村を見ていると、子どもとか、育つとか、子どもに限定した言葉が入っているので、ぱっと見て子育てに関するということが分からないと。吉野町のまちづくりのような感じです。それなら、子育てや育ちという言葉を入れないと。基本理念の趣旨があつてのキャッチフレーズというのなら分かりますが、このキャッチフレーズだけ見ていると、吉野町全体のものと、とらえられると思います。

(会長)

「親育ち」という言葉を変えてはどうでしょうか。

(委員)

「親育ち」にするとか。自ら育つという意味ですから。

(会長)

「親育ち」はいかかでしょうか。

(委員)

ちょっと和らぐ感じはしますが。

(会長)

思い切って「親育ち」的な言葉を抜いてしまうと。親を育てるというのは、まっすぐ明るい子に育てていれば、親も育てていると考えることも可能かなとも思います。

(委員)

「子育てをみんなで支えるまち 吉野」ではどうでしょうか。

(会長)

「子育てをみんなで支え合うまち 吉野」ではいかがでしょうか、というご意見です。「みんなで支え合う」は「つながる」ということとつながっているので、「つながる」を抜いてもいいですし、みんなで支え合うは、みんなで支え合うということなので、上から目線という部分もあるかもしれませんが、親を育てるということにもつながってくるかなとは思いますが。「豊かな自然に広がる笑顔 子育てをみんなで支え合うまち 吉野」。言っていた意見をあらためて言葉にしてみると、違和感がある等ご意見はありますか。

今、あらためて読み上げましたものでご異議ございませんか。いかがでしょうか。

(委員)

難しいですね。

(会長)

日本語の問題もあると思いますし、吉野町ならではの思いもありますし、やはり子ども・子育て会議の意思を盛り込んだものという、二重、三重にハードルのかかった言葉を挙げなければならぬのは難しいですが。

(委員)

豊かな自然で広がる笑顔、について、「豊かな自然で育てる笑顔」にしたらいいのではないかと思います。

(会長)

その続きは、「子育てをみんなで支え合うまち 吉野」でよろしいですか。

(委員)

そうですね。「育てる笑顔」で子どもと感じ取ってくれるのか、言わなければ分からないのであれば入れたらいいとは思いますが。そのように入れておくと、あとがやんわりとした感じでいけるのではないかと思ったのですが。

(会長)

難しくて、どこに入れたらいいのか。事務局、いかがでしょうか。結論を出すのが難しくなってきましたが、あとの問題もありますので、どこかで結論を出さなければいけないとは思っています。何か反対意見でもいいですし、文言としてそぐわないというご意見もおありかと思いますが。

(委員)

「子育てを」という言葉がなくてもいいと思います。ですから、いきなり「みんなで支え合う」に入ってもいいのではないかと思います。

(会長)

どちらの意見もそうだと思いますが、少し基本理念は、子育て支援という頭がどこかに付いて、その基本理念が入るといふ考え方なのか、何もなく今の基本理念だけがぼろっとキャッチフレーズとして出てくるかということ、出方としてはずいぶん変わってくるとは思います。その辺も併せて、例えば、他の市町村でも「子ども」という言葉が入っていない分もありますからね。他の町のキャッチフレーズ「ともに学び成長し」というのは、子どもが想起されますが、子どもという言葉は入っていません。

(委員)

このキャッチフレーズはどこに出すのですか。あくまでもこういう子ども限定の会議やそういう趣旨のところを出すのであれば、子どもという文字が入ってなくてもいいと思います。

(事務局)

今の件についてですが、吉野町子ども・子育て支援事業計画というのは、概要版は町民皆さまにお渡ししようと思っています。細かい内容の載った冊子については、今のところは役場等に置いて見ていただく資料になります。概要版の中には基本理念が入るので、多くの住民の皆さんには目にさせていただくことができると思います。今の基本理念の件ですが、たくさん時間をいただいてお悩みいただいて申しわけありませんが、先に読み上げさせていただいた趣旨の内容でおおむね同意をしていただけたということでしたら、この趣旨の内容に沿った計画の他の部分については、掲載内容をこちらで検討を進めていきたいと思っています。基本理念のところについては、次回、事務局の方で案を一つ提案させていただき、ご意見をいただきたいと形にさせていただけたらと思いますが、いかがでしょうか。

(会長)

ぜひ今日中に決めたかったのですが。次回は、一つ出していただいたものについてご意見をいただくという形で、もう一つは、いくつかご意見がありました。やはり基本理念の出し方がどうなのか。要するに、子ども・子育てなり、その部分が何かしら小さな文字でも入るのであれば、子ども、子育てという言葉が入らなくても、それが想起されるような言葉であれば問題はないというご意見をいただいていますので、その辺も含めて、では、次回にどのように出していただくかということの便宜もお願いします。

(事務局)

趣旨の内容の確認だけご連絡していただけると。

(会長)

趣旨については、この内容で進めさせていただきます。趣旨を変えることなく、趣旨に沿った理念をもう一度一つの案として出していただくということでもよろしいでしょうか。

(委員)

6ページ目、保護者が子育てについての第一義的責任を有することを前提としつつ、という言葉がわざわざ入っているのに違和感を覚えます。支援と書いてあるからには、親の責任であるということは分かりますが、ここで責任だ、ということばをぼんと出して、でも支えますよという、何となくきつい感じがあるなど、読んだ時に感じました。

(会長)

そういったご意見もありますので、この分をどのようにしていただくのか。趣旨についても決定ではありませんね。今、これは案として出していただいたということでもいいですか。

(事務局)

内容については、おおむねご意見はないと思っています。今の言葉については、子ども・子育て支援法であるとか、子ども・子育て支援法に基づく基本指針が国の方から示されており、こういった内容で事業計画を進めていくようにという文言の中から出した言葉です。もしそういうご意見があるということであれば、検討いたします。

(会長)

今日、決めることはできませんでしたが、皆さんからたくさんの貴重な意見をいただきました。こうして具体的な案として出てくると、以前、何か分からないところでたくさんのキーワードを出すだけで終わってしまったのが、あらためて吉野町の子育てをどのようにしていこうかということが、具体的な思いとして委員の皆さま方からご意見をちょうだいできたかなと思います。ありがとうございました。

そうしましたら、2つ目の議事に入らせていただきます。平成 27 年度利用者負担について、事務局より説明願います。

## 2) 平成 27 年度利用者負担について

(説明)

### 【質疑】

(会長)

料金設定の方、非常に複雑で分かりにくくお思いの委員のみなさまもいらっしゃるかと思います。これについてのご質問をお受けしつつ、料金の内容、例えば、今まで給食費が含まれていなかったけれども、今回は保育料に給食費が含まれている。もう一つが保育時間が長くなったというような、実質保育料の軽減に結びついているというご説明だったかと思います。所得割になりましたので、その辺についてのご質問、ご意見等ございますか。

(委員)

今回、この料金設定について説明していただきましたが、これは来年度から実施するということですね。政治的なお話ですが、議会を通るのは何月になる予定でしょうか。

(事務局)

ただいまのご質問について、料金設定は規則で定めることになっております。条例で定めるということになると、議会での議決が必要ですが、規則ですので、町長の決定の範囲内ではあります。ただし予算等色々な関係から議会での説明を欠かすことはできませんので、今日、こうしてお示しさせていただき、皆さん方の意見も踏まえたいので、9月の議会で、文教厚生委員会で説明させていただこうと思っています。欠席の委員様にははいね

いに説明し、議会で9月にご了解をいただこうと思っています。予算は3月の議会で通してもらおうということになっています。事務局は、綿密に計算しており、町長の意向も確認し、昨年よりは軽減させていただいたと思いますので、できればこれで実施させていただくようなご了解をこの委員会でもしていただければ、私どもありがたいと思っています。

(委員)

よく分かりました。今、町長のご意向も含まれているという話でしたので、これは僕の記憶違いかもしれませんが、吉野町は日本一子育てをしやすいまちだというふうに、先ほどスローガンについてすごく議論されていましたが、すでに吉野町が公言したものがあつたと思います。日本中で日本一、子育てがしやすいまちということを謳っているところは他にもあって、僕も去年、いったいその地方自治体はどのようなことをして取り組んでいるのかということ調べました。成人するまでの間、もしくは義務教育の間は一切、お金がかからない状態にしている自治体がありました。スローガンを挙げた分だけそれを打って出て、人口を増やすといったところに導いていると思います。今、一生懸命、できる範囲のことをやっただけということにはよく分かります。しかしながら、そういうところには、まだ結びついていないのかなと思います。私は払っている側ですが、今、説明を聞いて事情はよく分かりましたが、そうでない方は、おそらく何のこっちゃよく分からないと。これだけサービスをしたから、ちょっと上がっているけど損はしていないというように説得されたように聞こえます。町長のご意向という言葉がありましたので、もともと、日本一子育てをしやすい吉野町と打って出ている分だけ、その分は一体どのあたりに出ているのかなというのが、ものすごく感じます。

(事務局)

実は、日本一という総合計画をつくった時、私はその担当をしていました。あれはかなり思い切ったキャッチというか、目標であります。実際、達成することは難しい目標だとも認識しています。吉野町よりももっと子育てが進んでいるところもあります。しかし、そういう高いところに目標を置いて、町の財政、それから町は子育て以外にも色々なことをしなければなりませんから、その辺、できる事を徐々にでもやっていると。実は、中学校までの給食費を無料にしたいという意向はあるんです。ところが、それを無料化にすると、2千万ほどの一般財源が必要になる。その2千万はどこかを削らなければならない。そうなる何かをがまんするということに結びつきますので、今の財政状況のバランスを考えたうえで、できる範囲内で教育委員会は努力させていただいたということでご理解いただき、これはその辺の地道な努力をしながら、子育てのしやすいまちにしていきたいと考えています。とりわけ、2040年問題が出てきて、吉野町に移り住んでよかったと思ってもらえるまちにするためには、子育て以外にも雇用の問題など、働く場所をつくるとか、そういうことも絡んでまいりますし、総合的な見知から、ご理解いただきたいということ

でよろしくお願ひしたいと思ひます。

(委員)

僕は今の事情を理解しました。吉野幼稚園、わかば幼稚園に対しての説明は、あくまでも僕は一応、役員としては残っていますので、園からの代表として認識していただいているのか、そうでないのかというところもあります。今日、わかば幼稚園の代表が来ておられませんので、これをどのようにわかば幼稚園に伝えるのかなということが、ものすごく疑問です。実際、下がる人は了承してくださると思いますが、上がる人はやっぱり抵抗すると思います。その辺り、議会で決まっていくということを知りましたが、来年の4月の入園時には、絶対に理解してもらわないと、今の年中が年長にもなれませんが、新しい新入生も迎えられないという状況になりますから、どの状態でどのように進めるのか。僕は、園に帰って、いついつに説明に来てくれるけれども、その時に質問があったらしいやと言おうと思いますが、そのタイミングはいつになりますか。

(事務局)

子育て会議の代表として来ていただいている委員の方に、責任を負わせて説明していただくということではなく、われわれがやはり保護者の方に直接説明をさせていただく機会を持とうと思っています。その前に、やはりルートの的には議会の説明も9月に必要だろうということで、それからのスケジュールで事務局としては予定しています。今、園長先生に来ていただいているが、先生方にも理解していただかなければなりませんし、そういう説明もていねいにしていきたいと思っています。

(会長)

料金のことになると、シビアな色々な問題が出てきます。これはまったくの私事ですが、もともと私は公立の幼稚園に勤めていて、少し料金を見ていますと、給食費も入ってこの値段だというのは、ちょっと信じられないぐらいに安いです。吉野町大丈夫なんですね、すごいですね、うらやましいですと。私が行っていたところは保育料だけで6,000円、7,000円で、給食は付いていませんので、毎日お弁当を持ってきてもらっていますので、給食費の3,000円程も入ってこの値段というのは、吉野町は頑張っているのだなど、客観的にそのように思いました。結果として、料金が、例えば、1号認定の方が保育料として5,000円が7,300円になると、値上がったように思いますが、この中に給食費が入っている。そうしたら、別々に集めていたものを一括で徴収するので、結果として、具体的には安くはなっていると思います。日本一子育てをしやすいまちというところで、日本一がすぐに日本一になればいいのですが、日本一になるべくご努力をいただいているのだろうなど私見ですが、思いました。



(委員)

料金が1円でも上がったから反発しているというわけではありません。日本一と謳っているのも吉野町ですし、その他にも日本一を謳っているところもありました。料金をただにしているところもあるというところを比較した時に、吉野町は日本一と謳った分だけ何か抜けているものがあるのかという質問です。僕は財政面のことも含めて考えれば、頑張っているということもよく理解しています。ただ、町長が日本一と謳っている以上、よその自治体の情報を収集してみたら、おかしいやないかとなってきてもおかしくはないと思います。

先ほど挙げましたスローガン、私は遅れてきましたので、途中の意見は聞いていませんが、新しいスローガンを付けるというのは、その日本一から離れて行って、自分たちのできる範囲の妥協案に下りていっているような気がして仕方がないなというのが本音です。吉野町に対してお金を突っ込んで、何かいいものを伸ばしていこうとするお金の使い方もあるれば、無駄なものを減らしていこうという考え方もありますが、教育の方は、決して無駄な方を減らそうではなくて、お金を突っ込んででも育んでいこうというところであってほしいというのは親の願いです。ですから、財政が逼迫している中で頑張っているんですよというのは、あまり話に合わないのではないかと思います。理解はできますが、それならこんな計画を立てなくても、できる範囲で頑張っている、でいいじゃないかと思うんですね。

こうしてみんなで集まっていただいて、こんな時間を取って、料金まで議論する場所をつくっているのですから、僕自身も一応、日本一と謳っている以上、よくなるんだろうな、もっと安くなっていくんだろうなという期待もありましたからね。その辺も裏切りではありませんが、説明責任は重くのしかかってくるのではないですかというお話です。ですから、何月ごろにどのように説明していただいて、親の反発もどのように受けてくれるのかなど。嫌だと言っても、従わないといけないという状態ですから。この料金が気に入らなかつたら、私学に行きなさいといわれている状態に近くなってくると思います。よそと比べて吉野はましだという位置づけで吉野を選んでいただくのは、あまりにもさみしいかな、ここまで打って出ているのにと。

もう一つ、僕はこの会議が始まった時にも言いましたが、先ほど雇用の話があつて、人口の話もありましたが、吉野町の職員さんが吉野町で子育てをせずに、住むところもよそに移っていくという現状があります。どんなサービスをすれば、吉野町で確実に仕事がある彼らが、どんな幼稚園、小学校なら吉野町で子育てをしないと損だ、有益だというところも一つのバロメーターだと思います。僕ら、一般の町民の声も聞いてもらうのもそうですが、公務員の中でもたくさん子育てをしている人はいますから。そんないい幼稚園だったら、吉野町に帰って入れなければ損だとか、そんないい教育をやっているなら吉野町の小学校に行かせなければ損だなどというところのものが無い限り、彼らは仕事があつても町外に出ていますから。一番のバロメーターは、公務員の方に意見を聞いてもらえたら、

ある程度の答えが出てくるのではないかと思います。以上です。

(会長)

とても身につまされるご意見かなと思います。私自身の納得感のようなものも、今の委員のお話の中で、料金に問題があるわけではないというところで、非常に町民としての思いや親としての思い、教育にかける、子どもにかけるお金の分量が町としてどうなんだというところなんだろうと思いました。私言を申しあげて申しわけありませんが、吉野町、頑張っているらっしゃるなということを思いつつ、あえてそういう辛口の意見も踏まえて、町民へのご説明をと、ある意味気遣いも含まれていたかなと思います。代表して意見を言っていたいただきましたが、この件について他にご意見ございませんか。少し時間が押していますが、この際ですので、出して帰っていただいたらと思います。

(委員)

今、料金設定を聞かせていただいて、私自身はずっと父兄の方から、子育て会議に行っているなら料金設定どうなったのか教えてとずっと聞かれています。今のこの説明を聞いて、私はほっとしています。おおむねこの料金設定だと、たぶんご父兄の方々は納得していただけると、私個人的には思います。ただ、非常にデリケートな話になってくると思いますので、これを教育委員会の方々が説明に行かれた時に、すごくフォローがいます。例えば、私は第二階層区分の1号認定になるとは思います、という事は具体的に聞けませんね。でも親としたら、他の父兄のお子さんの料金設定というよりも、まずは自分の子どもの料金設定のところ目がいくと思うんです。かといって、その部分について挙手して説明を願うということは、なかなか勇気のいることですし、プライベートな部分になると思うので、説明後のあとのフォロー、個人的なフォローが大切かと思っておりますので、その辺の部分曖昧にせず、私、どうなっているんだろうと思いつつ4月を迎えて、言われた料金だけを払う。あとで文句が出る。そういうことだけが起こらないように、ていねいなフォロー、説明をお願いします。

(会長)

委員の皆さんならばこそその先を見通したお気遣いでもあり、委員会の事務局としてのご準備をこのようにというご意見だったかと思っております。ほかにいかがですか。準備のことについては、おおむねよろしいでしょうか。

(委員)

保育時間は大丈夫ですか。しんどいことはないですか。人材も。父兄はいいと思うんです。たしかに預かってもらえるのは結構だと思いますが、逆に考えると、これだけのことをすればかなり人件費もかかる。私が心配する話ではありませんが。

(委員)

延長保育だけのパートさんを雇うとか、そういう方向を取られるのですか。

(事務局)

そのようにも考えていこうとは思いますが、今現在、保育所ではローテーションで時間差出勤で勤務していますので、一応、8時間という勤務時間は守られているのはたしかです。わかば幼稚園は、ちゃんとその時間帯の先生方を配置していただいていますので、来年はもっと考えていただかなければなりません。今現在では、時間的にはゆとりを持たせていただいているかなと思います。

(委員)

大淀町などは、バスの先生はパートで雇っておられたりしていますよね。

(委員)

あれは私立ではありませんか。公立もですか。

(委員)

公立もです。

(委員)

あおぞらがありますね。あおぞらは保育所だったでしょうか。

(事務局)

大淀町は、幼稚園の校区がありません。

(委員)

だから個人送迎しています。

(委員)

バスの先生がいるというのは、あれは保育所ですか。

(委員)

保育所です。

(会長)

保育園の先生方が子どものことを思って、保育時間中に十分かかわっていただこうと思えば、いわゆる労働基準法に則った時間を確保していただく。そうしようと思えば、長時間になれば、人の手当のようなものも、いわゆる保育料の中には出てこない負担を町の方でしていただいているということも考えられますね。だから、本当になかなか保育料の何千円の中には、見えないものが今回の施行案として挙げていただいた中に色々入って、保育時間が長くなるということは、親にとっていいことではあるけれども、行政としては、そこに人を配置するという負担もかかってきます。そういうふうなことも含めてのことだと、委員の先生方から保育園の先生方大丈夫ですかというお声もかけていただき、保育園の先生もその辺はまた事例を見ていてというご意見が出ています。先生たちの充実した勤務時間にきちんと見合ったものをしない限り、きちんとした保育ができないというふうにも思っています。そういう意味では、園長先生がきちんと管理をしていただいた上で、行政の方にはたらきかけていただいたと思っています。どうぞよろしく願いいたします。長くなりましたが、料金設定について他にご意見ございますか。

(事務局)

色々なご意見をいただきましてありがとうございます。まず、保護者の説明をという話がありました。当初は入園前の説明会、入園募集を11月にしますので、その前、10月中頃から開催する説明会で保育料に関しても皆さまに説明させていただこうと思いましたが、今、皆さんのご意見を聞かせていただいて、保育料については、少しでも早くお知らせの方がいいのかなと思いますので、9月の議会が終わったのち、目標としては9月末ぐらいに皆さまにお知らせできるように説明会をさせていただきたいと思っています。また、個人的に自分がどのようになるんだろうというふうなことについては、説明会后、個別に教育委員会の方にお問い合わせいただければ、今、現在での所得に関する情報をみてのことになりますので、来年度の金額は、もしかしたら働き方が変わって、階層が変わってくるということもあるのですが、話を聞かせていただいて、説明をさせていただこうと思っています。

(会長)

ということです。料金の方、色々なご意見なりご心配なり、それからこれからそれぞれ個別のご相談なり、疑問なりにお答えしていただくと同時に、委員の皆さんからは、おおむねこの案で何とかご承諾いただけたかなと思います。料金についての議事はこれで閉じさせていただきますてもよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし。

(会長)

では、今日の議事を終わらせていただきます。その他について、事務局からお願いします。

3) その他

(説明)

以 上

吉野町子ども・子育て会議運営要綱第3条第2項の規定により署名する。

吉野町子ども・子育て会議

署名委員

署名委員